

新幹線を核とした まちづくり計画を問う

全町一丸となって取り組み 本町の発展を目指したい



柏倉恵里子 議員

柏倉 長万部町においても、来年の3月までには新幹線を核としたまちづくり計画を作らなければならず、あまり余裕がない状態である。今後のタイムスケジュールは。

町長 「新幹線を核としたまちづくり実行計画」は、これまでに本町の現況や課題等の整理、住民等へのアンケート調査を実施しており、これらに基づき計画の基本目標等を定めたことから、平成27年12月7日に第1回目の役場庁内プロジェクトチーム会議、12月9日に計画策定協議会を開催した。今後は、1月中旬の第2回協議会、1月下旬の第3回協議会に案を示し、2月に意見照会等を実施し、3月中旬の第4回策定協議会に諮り決定する予定である。

柏倉 駅舎の位置や駐車場、駅前ロータリーな

どの決定はいつ頃か。

町長 駅舎位置等の決定は、実行計画で乗降客数の推計を行っており、それに基づき、1月下旬には駅舎や駅前広場等のイメージパス（※完成予想図）を作成する予定である。

また、来年度予定している「（仮称）新幹線新駅周辺整備計画」で交通量推計等を行いながら、駅舎等により詳細な基本計画を策定したい。

今後はこれらの計画に基づき、国や道、JR北海道等と協議の上、駅舎位置や規模等について決定される事になる。

柏倉 新幹線新函館北斗駅開業に向けた我が町の取り組みは。

町長 新函館北斗駅開業に向けた気運の醸成や、本町PRのため「おしゃまんべ毛がにまつり」や、理科大葛飾キャンパスでの「ホームカミングデー」

等のイベントにおける新幹線開業PR活動を行っており、また、12月19日には、北海道新幹線建設促進長万部町期成会主催の「開業100日前カウントダウンイベント」が開催された。

地域連携の取り組みとして、八雲町、今金町、せたな町及び本町で構成される「北渡島檜山4町地域連携推進協議会」において、開業を見据えた「食」観光分野での連携取り組みを実施する。

柏倉 役場庁内にプロジェクトチームが立ち上がったようだが、縦割り行政ではなく、職員が一丸となってこの事業を推進していく必要があると思うが。

町長 役場庁内プロジェクトチームは、実行計画策定にあたり町民等と構成される策定協議会と連携し、計画原案作成や事業の選定、計画策定後



開業100日前イベント

の検証や改善を実施し、この計画が効果的・効率的に策定及び運用されることを目的として設置している。

また、実行計画は新幹線開業を見据え、ハード・ソフト両面で取り組みむべきまちづくりの計画であり、地方創生の総合戦略とも密接に関わってくる事から、職員はもちろん全町一丸となって取り組み、本町の発展を目指すべきと考えている。